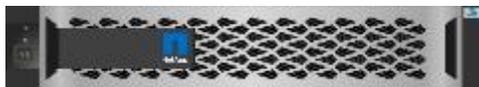


NetApp製品紹介

- AFF(All Flash FAS)シリーズ -



2020/5/15 インフラマーケティング部
ストレージソリューション課
NetApp担当

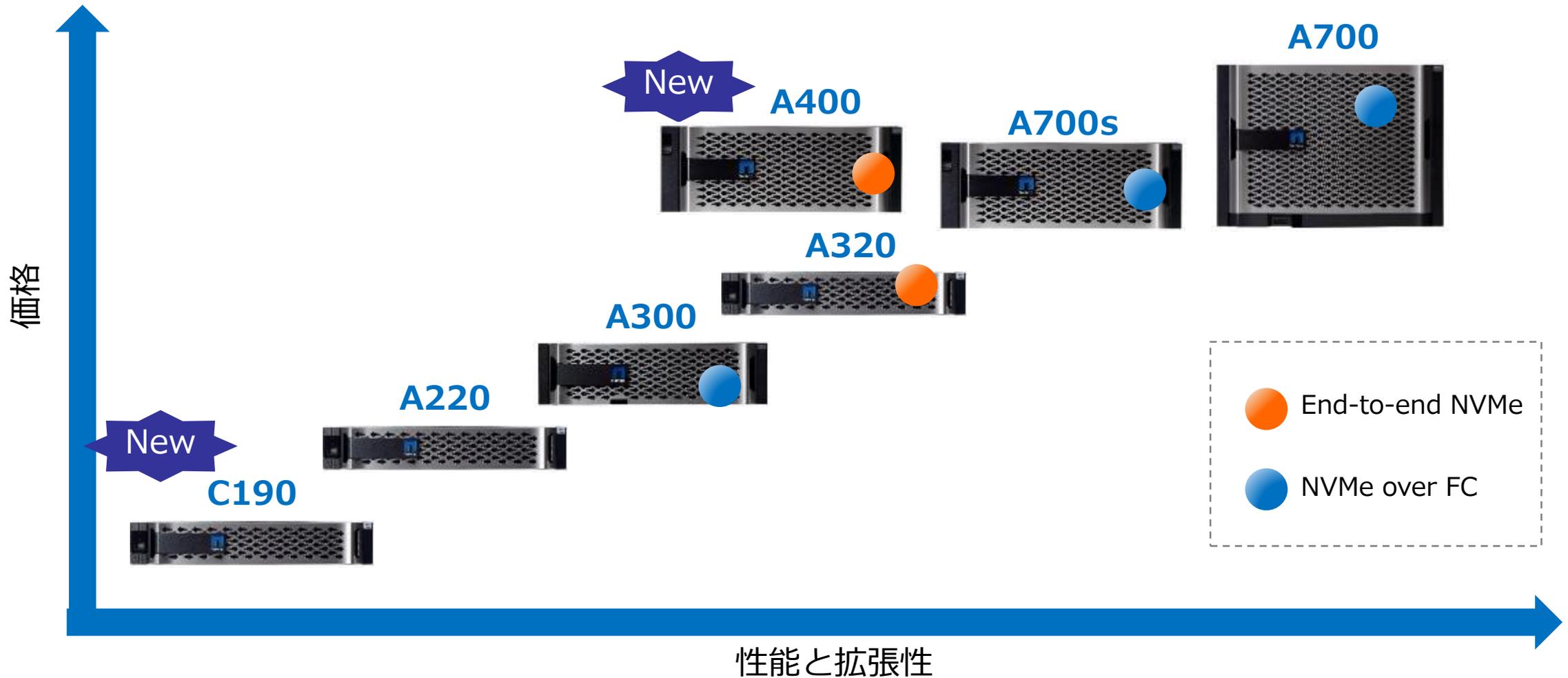
目次

1. NetApp AFF製品ラインナップ . . . p.3
2. AFFシリーズスペック一覧 . . . p.4
3. AFFシリーズの特徴 . . . p.5
4. AFFシリーズの提案ポイント . . . p.7

1. NetApp AFF製品ラインナップ

AFF Aシリーズ ポートフォリオ

AFFの最新ラインナップ (2020年5月現在)



2. AFFシリーズスペック一覧

HAペアでの値

	AFF C190	AFF A220	AFF A300	AFF A320	AFF A400	AFF A700s	AFF A700	AFF A800
フォームファクタ	2U	2U	3U	2U	4U	4U	8U	4U
CPU コア数	16	24	32	40	40	72	72	96
物理メモリ	64GB	64GB	256GB	512GB	256GB	1024GB	1024GB	1280GB
最大ドライブ数	24	144	384	48	480	216	480	240
NVMEM / NVRAM	8GB	8GB	16GB	32GB	32GB	32GB	64GB	64GB
Onboard / Pre-Configured Ports								
100GbE	-	-	-	24	4	-	-	8
25GbE	-	-	-	8	4 or 12	-	-	-
32Gb FC	-	-	-	16	-	0 or 8	-	-
16Gb FC	-	-	-	-	0 or 8	0 or 16	-	-
40GbE	-	-	-	-	-	0, 4, 12, or 16	4 or 8	-
10GbE	4	4	4	-	-	0, 16, or 24	-	-
10GBASE-T	0 or 8	0 or 8	4	-	-	-	-	-
UTA2	0 or 8	0 or 8	8	-	-	-	-	-
SAS	4 (12Gb)	4 (12Gb)	8 (12Gb)	-	8 (12Gb)	8 (12Gb)	8 (12Gb)	-
I/O 拡張スロット	-	-	4	4	10	0 or 4	16	8
ONTAPバージョン	9.6RC2 以上	9.4RC1 以上	9.1RC1 以上	9.6GA 以上	9.7GA 以上	9.1GA 以上	9.1RC2 以上	9.4RC1 以上

AFF (All Flash FAS) シリーズとは？

**AFF (All Flash FAS) シリーズは
FAS シリーズをオールフラッシュに特化させた高機能なオールフラッシュアレイです**

オールフラッシュのパフォーマンスと、フラッシュからディスク、クラウドまでの統合データ管理を両立します。

大幅なコストダウンを実現！

- 市場を強く意識した価格設定で徹底的なコストダウンを実現
- 構成によってはSASディスク構成より安価に

安心の7年保守対応！

- なんと7年保守対応可能
- NetApp独自のSSDに負担をかけない書き込み処理を行うので、安心して7年間使用可能

パフォーマンスUPで爆速！

- 最新OSでは読み込み処理の最適化を実現
- 高負荷状態が長時間続いても、安定したパフォーマンス、安定した低レイテンシを実現

優れた機能が標準搭載

- マルチプロトコルはもちろん、FASシリーズの優れた機能（スケールアウト、優れたデータ保護、データ管理機能等）もそのまま使用可能

AFF (All Flash FAS) シリーズとは？

AFFシリーズとFASシリーズの違い

▼FASシリーズ

HDD または HDD x SSD

AFFプラットフォームで使用できるのはSSDドライブのみ。
ミッドレンジ・ハイエンドのAFFではNVMe over FCに対応。
さらに一部のAFF(A320/A400/A800)でNVMe SSDを搭載し、End to EndのNVMeアーキテクチャを実現。

▼AFFシリーズ

オール SSD

圧倒的なパフォーマンス

さらに

パフォーマンスの最大化

AFFシリーズでは、工場出荷時にONTAPがフラッシュに特化させた状態で提供。
読み込み処理の最適化や細かな設定が可能なQoS機能などにより、ストレージのパフォーマンスを最大化。

データ効率化

さらに

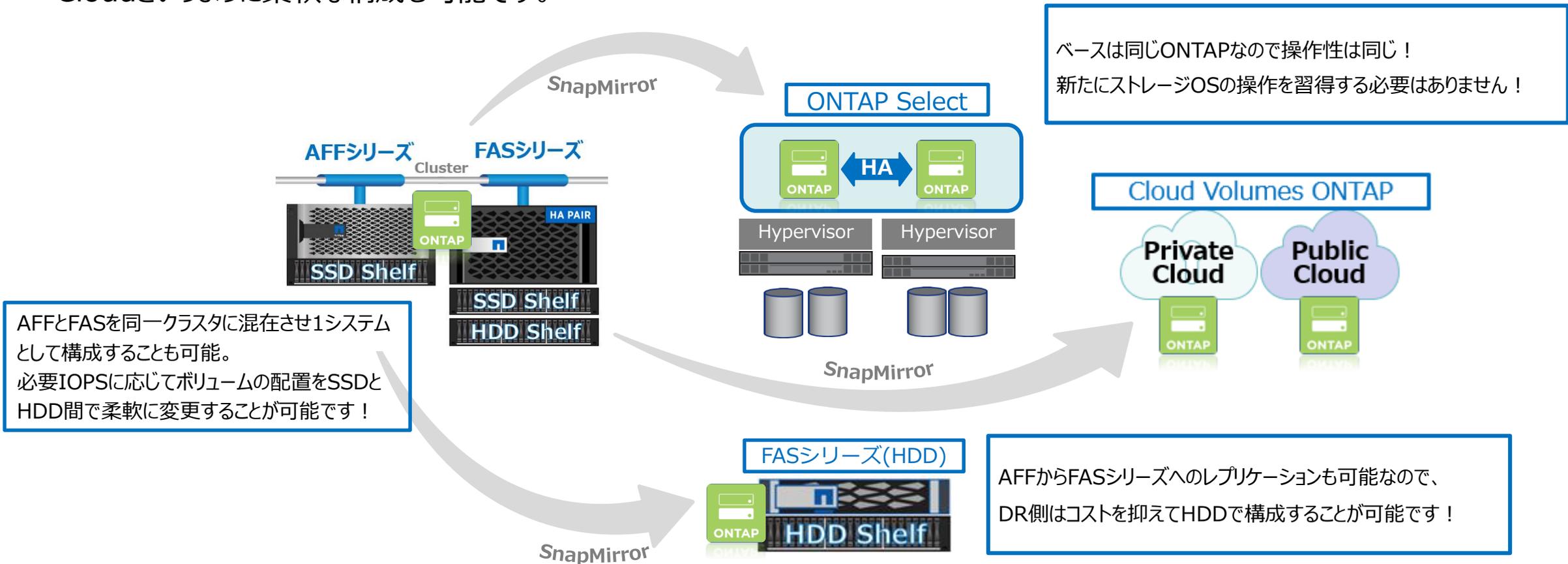
優れたデータ効率化

インライン圧縮・インライン重複排除などにより、優れたデータ効率化を実現。
FASシリーズで好評なADPが、AFFシリーズではADP2となり、より柔軟なRAID構成が可能になる。

4. AFFシリーズの提案ポイント

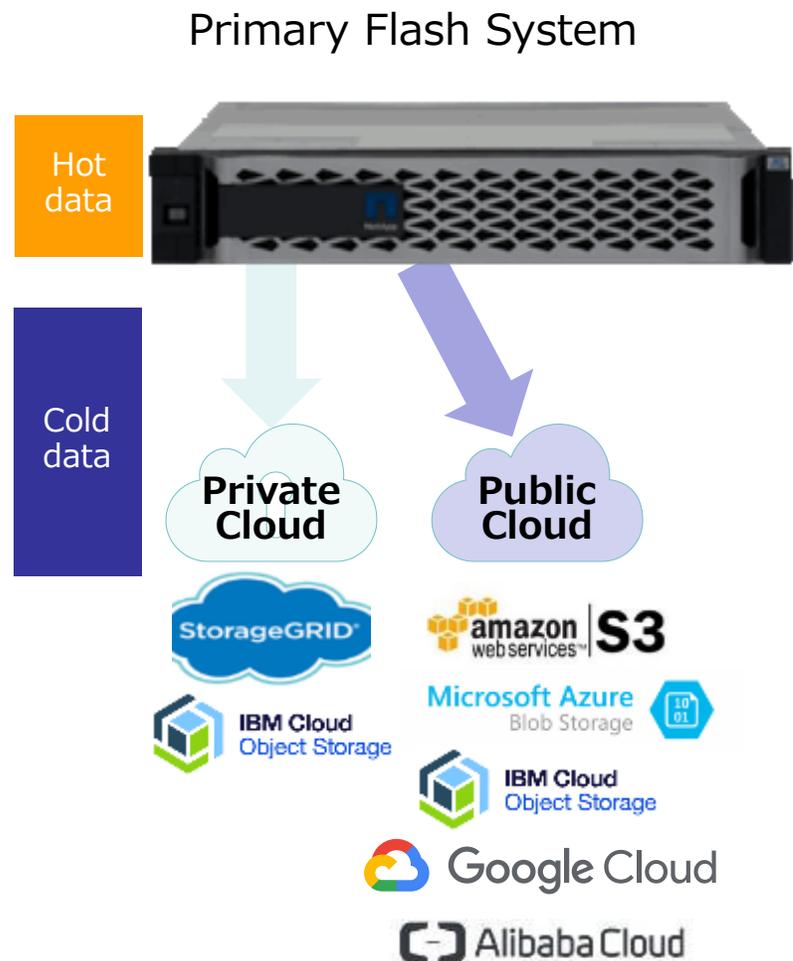
HDD/SDS/Cloudストレージとのデータ連携

AFFシリーズは、FASシリーズのHDDとの組み合わせや連携が柔軟に行えることがポイントです。同一システム内にSSDとHDDを混在させたり、本番サイトはSSDでDRサイトはHDDストレージやCloudというように柔軟な構成も可能です。



FabricPool : 自動クラウドティアリング

AFFで使用頻度が低いデータはクラウドへティアリング



- ONTAP の機能の FabricPool を使うことでフラッシュストレージ内のデータの50%以上を節約可能
 - 新しいシステム構成のサイズを縮小する
 - 既存のシステムで容量を再利用し多くのワークロードを統合
- 簡単にセットアップして自動管理
 - エンドToエンドのセキュリティと暗号化
 - 未使用データのレポート
- 豊富なティアリング先
 - クラウド: AWS, Azure, GCP, IBM Cloud, Alibaba Cloud
 - オンプレ: NetApp StorageGRID, IBM (Cleversafe)

※FASシリーズの場合もSSDアグリゲートでは利用可能